国立大学法人
東京学芸大学

2020年度秋学期　担当　南浦涼介

みなみうらぼ

日本語政策論

第3回 11月2日
現代の日本語教育をめぐる論点争点2

やさしい日本語と「共同体の成員資格としての日本語」

授業は16:10からです。しばらくおまちください。

導入1　教員として保護者に電話をかける

あなたは小学校の教員で，5年２組の担任をしています。

今日の長休み（２時間目と３時間目の間）の時間に，学級の子どもの山下新一君と長田翔君がケンカをして，長田君が山下君を押した瞬間に山下君が窓ガラスにあたり，ガラス窓が割れて山下君がガラスで右手を切ってしまいました。血も流れ，鋭い傷だったこともあって学校は保健室の養護教諭と担任で山下君を病院に連れて行き，数針縫って全治２週間の怪我となりました。

昼休みには山下君は学校に戻り，長田君とともに昼休みに指導をし，ケンカの原因と説諭，長田君の山下君への謝罪を含め，一件落着しました。

しかし「保護者対応」も重要です。

あなたは担任として，山下君が帰る前に一連の経緯を保護者の方に連絡する必要があります。また，本来は病院に行く前にすぐに連絡をすべきだったかもしれません。

現在，５時間目が始まったところの時間帯です。山下君の母親は午前中は仕事をしていますが，午後はおそらく家にいるはずです。

さて，あなたはどのように電話連絡をしますか？

導入1

教員として保護者に電話をかける

あなたは小学校の教員で，5年２組の担任をしています。

今日の長休み（２時間目と３時間目の間）の時間に，学級の子どものスラージ・シャルマ君と長田翔君がケンカをして，長田君がシャルマ君を押した瞬間にシャルマ君が窓ガラスにあたり，ガラス窓が割れてシャルマ君がガラスで右手を切ってしまいました。血も流れ，鋭い傷だったこともあって学校は保健室の養護教諭と担任でシャルマ君を病院に連れて行き，数針縫って全治２週間の怪我となりました。

昼休みにはシャルマ君は学校に戻り，長田君とともに昼休みに指導をし，ケンカの原因と説諭，長田君のシャルマ君への謝罪を含め，一件落着しました。

しかし「保護者対応」も重要です。

あなたは担任として，シャルマ君が帰る前に一連の経緯を保護者の方に連絡する必要があります。また，本来は病院に行く前にすぐに連絡をすべきだったかもしれません。

現在，５時間目が始まったところの時間帯です。シャルマ君の母親は午前中は仕事をしていますが，午後はおそらく家にいるはずです。ただし，シャルマ君の母親は，日本語がそれほど堪能ではありません。電話での連絡ということで，そこが少し気がかりです。

さて，あなたはどのように電話連絡をしますか？

もしもし。シャルマくんの　おかあさんですか。
きょう、がっこうで　シャルマくんが　けがを　しました。
でも、びょういんに　いきました。だから　だいじょうぶです。

けんかした　ともだちとも　なかなおりしました。ともだちは　けがしていません。

でんわが　おそくなって　すみません。
なにか　あったら　でんわして　ください。

視点１

「やさしい日本語」のつくりかた

重要度が高い情報
だけに絞り込む

あいまいな表現を
避ける

難解な語彙を
言い換える

知っていると役立つ
語彙は「やさしい日本語」で
言い換え表現を添える

複雑でわかりにくい
表現は、文構造を
簡単にする

場合に
合わせて

相手に
合わせて

主観的に

導入1 ニュースのやさしい日本語化

大みそかのナマハゲ コロナ感染防止策とり実施へ 秋田 男鹿

2020年11月4日 17時26分 新型コロナウイルス

NHK NEWS WEB

導入1　ニュースのやさしい日本語化

今年（ことし）の「ナマハゲ」は家（いえ）の中（なか）に入（はい）らない

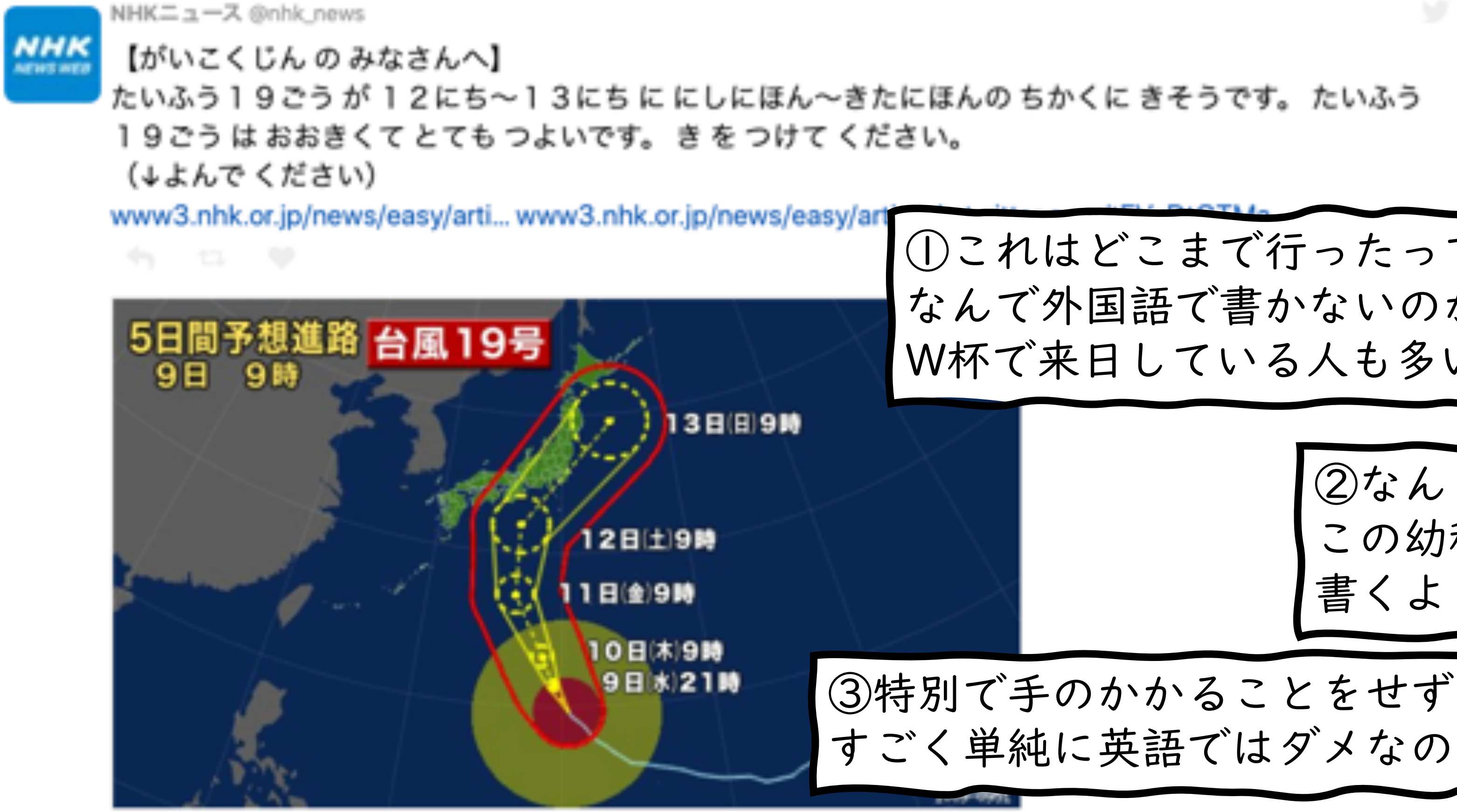
[11月6日 12時00分]

NHK NEWS WEB EASY

考える
1

「やさしい日本語」をめぐる論点争点

2019年、台風19号が接近したとき
twitterの「NHKニュース」が流したニュースをめぐって議論が巻き起こった
「日本語教師」アカウントからのコメントへのコメントも多くみられた
みなさんだったら「日本語教育の学び手」としてどうコメントする？



①これはどこまで行ったって「日本語」。
なんで外国語で書かないのかね。
W杯で来日している人も多いのに。

②なんじゃ
この幼稚園生が
書くような作文は

③特別で手のかかることをせずとも、
すごく単純に英語ではダメなのだろうか？

考える 1

なぜ、「英語表記」ではなく「やさしい日本語」なのか？

リンガ・フランカ
（ノンネイティブ同士の共通語）

リンガフランカとしての日本語

英語表記がすべての外国人に通じるわけではない

日本には非英語圏の外国人も多く住む

緊急性や即興性、非専門性

書き手も英語に通じているわけではなく「英語の正確性や適切性」を担保するためには手続きの時間とお金が余計にかかる。
できる人も限られる。

緊急性・即応性に日本での英語は脆弱

「英語として」意味の通りやすい文

Emergency access route.
In case of major earthquake,
emergency service vehicles only.

視覚的ツールにも文化はある

イラストは視覚的な支援ツールとしても有効だが、文化的影響も言語と同様に存在し、「万能ツール」であるわけではない。

②なぜ、「多言語表記」ではなく「やさしい日本語」なのか？

看板としての制約性

スペースの中の言語の優先順位

緊急性や即興性、非専門性

恒久的な措置として設置されるものとちがい、即応的・緊急的・一時的なものの場合は多言語表記「だけ」の対応システムはやはり限界がある。できる人も限られる。

「多言語表記」が向いている媒体
「やさしい日本語」が向いている媒体

考える
1

「やさしい日本語」をめぐる論点争点

2019年、台風19号が接近したとき
twitterの「NHKニュース」が流したニュースをめぐって議論が巻き起こった
「日本語教師」アカウントからのコメントへのコメントも多くみられた
みなさんだったら「日本語教育の学び手」としてどうコメントする？

①これはどこまで行ったって「日本語」。
なんで外国語で書かないのかね。
W杯で来日している人も多いのに。

②なんじゃ
この幼稚園生が
書くような作文は

③特別で手のかかることをせずとも、
すごく単純に英語ではダメなのだろ
うか？

たか
@pamstaka11
返信先: @nakagawadaisuk4さん, @nhk_newsさん
日本語教育に携わる者です。

日本に住んでいる外国人の方で、母語の次にわかる言語が『日本語』という方は、結構いらっしゃるのです...

『やさしい日本語』は、阪神淡路の反省から、研究されてきました。

ひとつの選択肢です。

より多くの人に大切な情報が早く伝わる可能性が高くなります。
午後11:10 · 2019年10月10日 · Twitter for Android
485 件のリツイート 9 件の引用ツイート 824 件のいいね

崇ノ城
@JojiSensei
返信先: @nhk_newsさん
すでに指摘されている方もいますが、これは「やさしい日本語」というものです。翻訳を用いるのも一つの手ですが、在留外国人だけでも約200の国と地域から来ており、全ての外国人の母語に対応するのは不可能なので、やさしい日本語が使われるようになりました。
詳細はこちら→ human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ2shit...
午後10:34 · 2019年10月13日 · Twitter for iPhone
1 件のいいね

Yoshifumi Murakami「ハナキン」の中の人
@Midogonpapa
返信先: @Germanydeluxe1さん, @takochan_deさん, @nhk_newsさん
「スペシャル・イングリッシュ（Special English）は、アメリカ合衆国の国営放送局、ボイス・オブ・アメリカが通常の放送の中で使用している一種の簡略化された英語のことである。そのニュース番組は、限られた語彙と簡易な文法を用い、通常よりもゆっくりとしたスピードで」
ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9...
午前7:21 · 2019年10月12日 · Twitter Web App
28 件のリツイート 71 件のいいね

レミー @KING_conguero · 2019年10月11日
返信先: @nhk_newsさん
いや素直に英語で書けや

すおすお @suosuonurunuru · 2019年10月11日
ヒント
日本に一番定住してる外国人

レミー @KING_conguero · 2019年10月11日
あっ………（察し）
でもさ、英語の方がわかりやすい事ないか？？日本語の方が理解出来んのか？？

すおすお @suosuonurunuru · 2019年10月11日
日本の定住外国人ってフィリピン除けば大体非英語圏から来てるからなぁ
日本で仕事しにくくなるなら簡単な日本語の方勉強してる人の方が多いと思う

レミー @KING_conguero · 2019年10月11日
んんんんんんん理解........すまんNHK..............

論点
争点①

「日本語政策論」の今後を見通す論点争点②

「やさしい日本語」研修を受けたある市役所の人の感想

「やさしい日本語」の研修を受けて，行政の文書や案内のこれまでの書き方を前提にしすぎている自分に気がつきました。
ただ，一方でこれで日本語としてこれでいいのだろうかというもやもやも拭いきれません。

日本語教育を考える上での論点争点①

共同体の成員条件の緩和問題

共同体の成員として、外国から来た人を
「同じ〇〇人」と認めていくことは可能か？

日本語教育を考える上での論点争点②

共同体の共通語としての日本語規範の緩和問題

共同体の成員条件としての「日本語ができること」は
言語的厳密性か共同体的実用性か？

日本語母語話者は「共同体の用いる日本語の規範」を
緩和できるか？　寛容になれるか？

論点
争点①

「日本語政策論」の今後を見通す論点争点②

日本語教育を考える上での論点争点②

共同体の共通語としての日本語規範の緩和問題

共同体の成員条件としての「日本語ができること」は言語的厳密性か共同体的実用性か？

日本語母語話者は「共同体の用いる日本語の規範」を緩和できるか？　寛容になれるか？

観点①　中国語における「加点方式発想」

「中国語を話せば同じ」という感覚はさらに別の形でも現れる。妻が育った街に行ったとき、近所のおばあさんにちょっと中国語で挨拶をしたら、うれしそうな表情で「あら、この人、中国語を話すよ！」と言われた。発音も文法も誤用だらけの中国語のはずなのに、「あなたの中国語はうまい」「あなたの標準語はきれいだ」という。あちこちでそう言われた。同じような経験をした人は少なくないはずだ。

そもそもの成り立ちからして、各地方出身者間の意思疎通という目的をはっきり持っているので、中国人の耳は、減点方式ではなく、加点方式で相手の言葉を聞く。つまり、「あっ、間違った」「また訛ってる」と欠点をあげつらうような意地悪な聴き方をしない。反対に「多分こうだ」「きっとそういう意味だろう」と聞き手が積極的にコミュニケーションに関与してくるのだ。

（井上優（2013）『相席で黙っていられるか―日中言語行動比較論』岩波書店）

こうした発想を、日本の共同体の多くの人が持てるようになるには？

観点②　コミュニケーションにおける寛容さ

たしかに、日本語が母語話者以外にも用いられるようになれば、当然のように「変な」日本語を耳にする機会が増えてくることでしょう。大切なのは、その「変な」日本語をはじめから拒絶するのではなく、その「変な」日本語を通して、相手は何を言おうとしているのかを理解しようとすることです。

「外国人問題」とされることのかなりの部分が、日本人側の態度に原因があることを、言語のレベルでよく示しています。これまで日本社会の基準を頑なに守ろうとするのではなく、外国人との出会いを通じて、もう少し柔らかなものに変えていくべきではないでしょうか。「外国人住民が日本社会に適応するだけでなく、状況に応じて日本社会も変わっていく」ことも必要なのです。

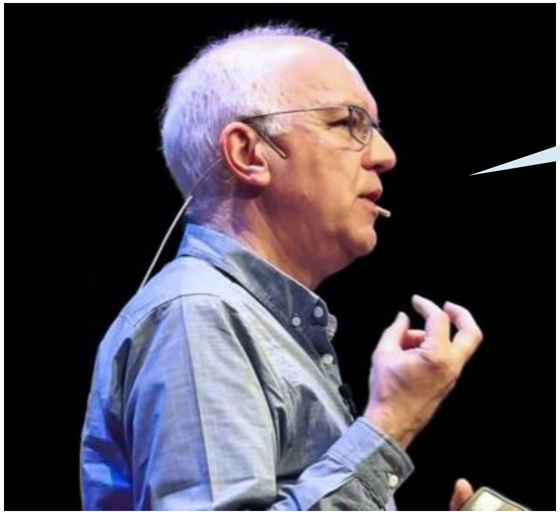
大切なのは、現実の対話場面においては、日本語能力の高低に関わらず、外国人もコミュニケーションの対等の参加者として尊重することであり、聞きなれない言語表現に対して、違和感や嫌悪感を持たない言語的寛容さ、言語的ホスピタリティを持つことだと思います。

（中略）

外国人にとって住みやすい社会は、日本人にとっても住みやすい社会であるに違いありません。（イ・ヨンスク（2013）「日本語教育が『外国人対策』の枠組みを脱するために—『外国人』が能動的に生きるための日本語教育」庵功雄・イヨンスク・森篤嗣『「やさしい日本語」は何をめざすか—多文化共生社会を実現するために』くろしお出版）

論点
争点①

「日本語政策論」の今後を見通す論点争点②



ガート・ビースタ（Gert Biesta）
オランダの教育学者。AERA（全米教育学会）の『教育研究ハンドブック』の冒頭を務めるなど、現在もっとも注目を集める教育研究者の一人。

私たちの世界は、すでに「私たち」の圏内に入っている人と、その圏外にいる人でできている。
しかし、民主主義の最終目的地は「圏外圏内で分断されず、『みんな』が包括される状況」をつくることだ。

それを人が本気で考えるタイミングは２つある。

１つは、すでに「私たち」の圏内に入っている人と、「私たち」の圏外にいる人の存在との間で、その内外の境界線の秩序が「ゆさぶられる」とき。

もう１つは、その「ゆさぶられたとき」に、人が「平等とは何か？」を考えざるをえないとき。

この2つの感覚は，「主体化」のきっかけをつくる
それは，民主主義の世界を生むきっかけになるのだ。

こういう「やさしい日本語」が人目に触れること自体が、**「圏内の人と圏外の人の存在との間で、内外の境界線の秩序が揺さぶられ」「平等とは何か？」**を考えざるを得ない事象でもある。

過去日本は
どうしてきたのか？

世界では
どうしているのか？

言語教師は
何を教えるのか？

論点
争点①

「日本語政策論」の今後を見通す論点争点②

「やさしい日本語」研修を受けたある市役所の人の感想

「やさしい日本語」の研修を受けて，行政の文書や案内のこれまでの書き方を前提にしすぎている自分に気がつきました。
ただ，一方でこれで日本語としてこれでいいのだろうかというもやもやも拭いきれません。

日本語教育を考える上での論点争点①

共同体の成員条件の緩和問題

共同体の成員として、外国から来た人を
「同じ〇〇人」と認めていくことは可能か？

日本語教育を考える上での論点争点②

共同体の共通語としての日本語規範の緩和問題

共同体の成員条件としての「日本語ができること」は
言語的厳密性か共同体的実用性か？

日本語母語話者は「共同体の用いる日本語の規範」を
緩和できるか？　寛容になれるか？